

1 八幡ジャンクション付近

新名神高速道路と第二京阪道路を接続するジャンクションやインターチェンジを建設しています。現在、橋梁工事や土工工事を行っています。橋梁については、全11橋のうち、未架設である1橋のコンクリート桁および各橋梁の壁高欄や付属物の施工をしています。土工工事でも大型重機を用いて盛土造成を進めています。



うち、未架設である1橋のコンクリート桁および各橋梁の壁高欄や付属物の施工をしています。土工工事でも大型重機を用いて盛土造成を進めています。

2 京田辺高架橋付近

木津川の左岸から八幡ジャンクション(仮称)へとつながる、約1.6kmのコンクリートの高架橋を建設しています。橋台、橋脚は全105基が完成し、上部工工事



および高架下整備を行っています。上部工は、全ての架設が完了し、壁高欄の施工を順次進めています。

3 木津川橋付近

木津川を渡る755mの鋼橋を建設しています。河川内の工事は毎年、非出水期となる10月中旬から翌6月中旬の間で実施しています。現在、第五期目の河川内工事



に着手しました。橋脚は、全16基が完成し、上部工の桁架設も完了しました。現在、橋梁上の床版の施工などを行っています。

4 城陽ジャンクション付近

新名神高速道路と京奈道路を接続するジャンクションやインターチェンジを建設しています。現在、橋梁工事や土工工事を行っています。橋梁については、木津川側からコンクリート桁、京奈道路周辺では鋼桁の施工を



行い、全ての桁架設が完了しています。現在は、壁高欄や付属物の施工を行っています。土工工事では、八幡ジャンクション(仮称)からの掘削土を運搬して、盛土造成を進めています。

5 宇治田原町域

宇治田原町域では、平成35年度開通予定の新名神高速道路(大津~城陽間)の工事を行っています。岩山地区では、約760mの工事用道路を施工

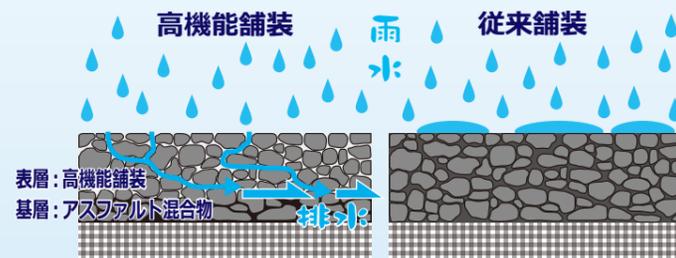
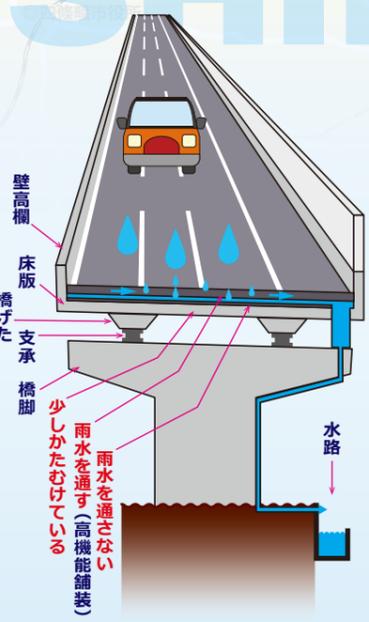


し、約220mの工事用仮橋の施工を進めています。郷之口地区でも、橋梁の下部工の施工に着手しました。



『高速道路ができるまで...高機能舗装』

高速道路の舗装には、高機能舗装というすき間が多く水を通しやすい舗装を使っています。水を通しやすくすることで、雨水が舗装面にたまらず水たまりができにくいため、車両走行による水しぶきの発生が低減され、路面や区画線も視認しやすくなります。また、水たまりでハンドルをとられたり、夜間には車のライトの光が乱反射することもなく、安全走行に役立っています。さらに、すき間が多いために走行音も吸収することができ、騒音を少なくすることにも役立っています。開通区間も順次高機能舗装に整備し直しており、西日本高速道路管内では平成26年度時点で、総延長の約77%が高機能舗装です。



「高機能舗装施工前後の路面状況」(左車線：高機能舗装・右車線：従来舗装)

木津川橋 桁最終架設・ボルト締め式

2016.8.22



木津川を渡る755mの木津川橋の橋桁の最終架設が完了し、最後のボルトを締めるボルト締め式を行いました。これによって、木津川を挟んで城陽ジャンクションと京田辺高架橋が連結されました。今後は床版、壁高欄や舗装などの工事をすすめていきます。



2016.8.29



※本誌における新名神のJCT(ジャンクション)IC(インターチェンジ)構造物の名称はすべて仮称です。